

「度数分布表」とは？度数の求め方と階級値を 解説（練習問題）

度数分布表とは

「度数分布表（どすうぶんぷひょう）」とはどんなものかについて説明する前に、実際にデータを見てみよう。

これはあるクラスの生徒20人の漢字テストの点数だよ。

番号	点数	番号	点数
①	38	⑪	41
②	45	⑫	37
③	35	⑬	28
④	29	⑭	30
⑤	48	⑮	50
⑥	40	⑯	41
⑦	49	⑰	45
⑧	41	⑱	32
⑨	48	⑲	34
⑩	35	⑳	43

たとえばこのデータを見て、
「20人の点数を見て、気づいたことは？」
と聞かれたとしたらどうだろう。

データを見ただけでは、わかりにくいよね。
そんなときに便利なのが「度数分布表」なんだ。



さっきの20人の点数を度数分布表にまとめると次のようになるよ。

テストの点数(点)	人数(人)
25以上～30未満	2
30～35	3
35～40	4
40～45	5
45～50	5
50～55	1
合計	20

度数分布表を見れば、何点から何点の間に何人いるかがぱっとわかるんだ。

表を見ると、

40点以上の人が「5 + 5 + 1」で11人いる！ということがわかったり、30点未満の人が2人いる、なんてことがぱっとわかるね。

この度数分布表を見ながら、新しく登場する言葉を学習していこう。

「階級」とは

柔道でも「48kg級」や「57kg級」なんていう「階級」が使われていたりするから、なんとなくイメージできるかな。

階級（かいきゅう）というのは、人数（データ）を集計するための「区間」のことだよ。

たとえば柔道で、どうして「48kg級」や「57kg級」というように分けるのかというと、同じくらいの体の大きさや重さの人どうして戦わないと、体が小さい人のほうが不利だったりするからだよ。

つまりは、レベルが同じような人で区切って、データをわけるということだね。



今回のテストの結果も、テストの点数で区切ってデータを分けるとわかりやすくなるよね。

20点以上～25点未満、25点以上～30点未満、30点以上～35点未満、35点以上～40点未満・・・というように分けていて、これを階級とよぶよ。

テストの点数(点)	人数(人)
20以上～25未満	2
25 ～30	3
30 ～35	4
35 ～40	5
40 ～45	5
45 ～50	1
合計	20

階級

「階級の幅」とは

階級が何かわかれば、「階級の幅」というのは難しくないよ。

階級の幅とは、階級の区間の幅のことなんだ。

つまり、ひとつの区間が「何点から何点までになっているか」ということだね。

階級の幅

テストの点数(点)	人数(人)
20以上～25未満	2
25 ～30	3
30 ～35	4
35 ～40	5
40 ～45	5
45 ～50	1
合計	20



度数分布表を見ると「20～25未満」、「25～30未満」となっていて、どの階級も「幅が5点」になっていることがわかるね。

この度数分布表は、階級の幅は5点ということだね。

「度数」とは

「度数」というのは、その階級にある「データの数」のことだよ。
今回の「漢字テストの点数」の度数分布表のばあい、人数が度数になるね。

テストの点数(点)	人数(人)
20以上～25未満	2
25～30	3
30～35	4
35～40	5
40～45	5
45～50	1
合計	20

度数

20点以上～25点未満の生徒の人数は2人なので、この階級の度数は「2」ということになるよ。



「度数分布表」の練習問題

次の資料は、クラス15人の算数テストの点数です。

79、84、85、75、80、95、72、
93、81、80、77、85、73、71、82

下の度数分布表にまとめなさい。

テストの点数(点)	人数(人)
70以上～75未満	
75 ～80	
80 ～85	
85 ～90	
90 ～95	
95 ～100	
合計	15

まずは70以上75未満の人は何人いるかなって数えるんだけど、
数え間違えないために、数えた点数を消していくといいよ。

79、84、85、75、80、95、~~72~~、
93、81、80、77、85、~~73~~、~~71~~、82

他の階級も数えて、度数分布表に度数をまとめると次のようになるよ。

テストの点数(点)	人数(人)
70以上～75未満	3
75 ～80	3
80 ～85	5
85 ～90	2
90 ～95	2
95 ～100	0
合計	15

数え間違えなければ簡単な問題だね。



度数分布表を見て、次の問いに答えなさい。

テストの点数(点)	人数(人)
70以上～75未満	3
75 ～80	3
80 ～85	5
85 ～90	2
90 ～95	2
95 ～100	0
合計	15

- (1) 階級の幅を答えなさい。
- (2) もっとも度数が大きいのは、何点以上何点未満の階級ですか。
- (3) 75点以上80点未満の人は全体の何%ですか。

(1) 階級の幅を答えなさい。

階級が70～75、75～80・・・となっているから、階級の幅は5点だね。

(2) もっとも度数が大きいのは、何点以上何点未満の階級ですか。

度数というのは、その階級にあるデータの数だったよね。
今回は、80点以上85点未満の度数が5で、もっとも大きいね。

(3) 75点以上80点未満の人は全体の何%ですか。

75点以上80点未満の階級の度数を数えれば、3人いることがわかるね。
クラス全員が15人だから、75点以上80点未満の人の割合は
 $3 \div 15 \times 100 = 20\%$
と求めることができるよ。



度数分布表のアに当てはまる数を答えなさい。

テストの点数(点)	人数(人)
70以上～75未満	4
75 ～80	ア
80 ～85	3
85 ～90	1
90 ～95	3
95 ～100	4
合計	20

このような問題の場合は、「合計」のところに注目しよう。

合計で20人になるのだから、
 $4 + \text{ア} + 3 + 1 + 3 + 4 = 20$ となるよね。

計算をすると、アは5になるね。
 なので、答えは5人だよ。

クラス15人の理科のテストの点数を度数分布表にまとめました。
 点数が高い方から5番目の人は何点以上何点未満の階級にいますか。

テストの点数(点)	人数(人)
70以上～75未満	2
75 ～80	3
80 ～85	3
85 ～90	3
90 ～95	2
95 ～100	2
合計	15



点数が高い方から5番目だから、
 点数が高くなっている、度数分布表の下側の人数から順番に数えていこう。

テストの点数(点)	人数(人)
70以上～75未満	2
75 ～80	3
80 ～85	3
85 ～90	3
90 ～95	2
95 ～100	2
合計	15

4人

95～100点が2人、90～95も2人いるので合わせて4人だね。
 点数が高い方から数えて5番目の人は、その次の階級である「85点以上90点未満」にいることがわかるね。

「度数分布表」まとめ

- ・ 度数分布表とはデータをいくつかの階級にわけて整理した表
- ・ 階級とはデータを集計するための区間
- ・ 階級の幅とは階級の区間の幅
- ・ 度数とは階級にあるデータの数

度数分布表

テストの点数(点)	人数(人)
25以上～30未満	2
30 ～35	3
35 ～40	4
40 ～45	5
45 ～50	5
50 ～55	1
合計	20

階級
度数

